

鳥取県がスポーツ競技力（競争力）に弱い理由

鳥取県には財力がない、乏しいというのが正解ではあるが。財力があればいろいろなスポーツ施設を整備することができる。

整備、整備というがわずかな財源での整備では何も変わらない。

スポーツ施設をつくる。宿泊所なども設置した。スポーツ環境を整える。そこには高校、大学はもちろん社会人チームを合宿させる。

その合宿の内容・様子を直に目にすることによって、スポーツの本質、競技とはどういうものがわかってくる。これこそ鳥取県に必要なことである。

そして、一流の試合を呼んでくる。

これをしっかり目に焼き付ける。一流ができなければ、せめて大学同士の迫力ある試合でなければいけない。その試合をみて、競技観、試合観、選手観、など自分の持っているすべての価値観を自分自身の最高レベルに位置つけていく。

これができれば、全国に出ても強い選手（チーム）でいられる。全国に出てもはずべきものを感じない。感じないから浮き足立たない。あがることもない。

本当に強くしたければ財源が必要である。これができなければ一つの県で考えないで島根県と協力して考えるとか、何かを変えていかないと何も変わらない。

（2010年2月10日）

静岡県は毎日、日本一という富士山をみてすごしている。日本一というのが当たり前になっている。